

米5種類 食べ比べ

大津で「空想の森」上映記念
20人参加

「空想の森」上映記念

(猪飼なつみ)

北海道新得町の農家の暮らしを描いた映画「空想の森」の上映を記念して、『農ある暮らしへ』を考えてもらおうと、米の食べ比べが、

大津市の滋賀会館で開かれ、二十人ほどが参加した。

食べ比べたのはコシヒカリや日本晴など、県内産の米五種類。大津市で有機無農薬野菜の料理を提供する「ブルーベリーフィールズ

紀伊國屋」の岩田康子さんらが釜で炊き、みそ汁や県産の茶葉のおひたしも振る舞われた。

生産者の前田壯一郎さん(長浜市余呉町)は、米の特徴を話しながら、参加者は違いを味わって楽しんだ。

映画の田代陽子監督も参加した。「とてもおいしくて滋賀の素晴らしさを知った。映画だけでなく、さまざまなイベントを楽しんでほしい」と話した。

食べ比べは上映最終日の二十八日午後十二時半からもある。上映期間中、映画に登場する北海道新得町のチーズや県産の食材を販売する。食べ



米の食べ比べをして楽しむ参加者と田代陽子監督(左から3人目)=大津市の滋賀会館で

比べは参加費五百円。
映画とセットだと一般
千三百円、学生千円。